

新たな夢に向かって！ - 第2の人生は農業 -

活動の経緯

当校では平成10年頃から、研修課において、就農準備研修を実施してきた。当時は専任の講師や専用のは場もなく、学生（教務課）と一緒に講義や実習を実施していたが、就農を目指す者にとっては十分な研修体制とは言えず、受け入れ人数も限られていた。県内における農業従事者の高齢化、遊休農地の増加、首都圏からの就農希望者の増加に合わせ、平成16年度に職業訓練農業科を設立した。

活動の概要

農業を志す人に対し講義や実習、さらには派遣実習により農業経営に関する知識や技術の習得を目指している。



令和元年度入校式 4月



ブドウのジベレリン処理 6月

活動の成果、主な実績等

①第2の人生への第一歩としての職業訓練農業科

全国から「果樹王国やまなし」での訓練を希望する人々が応募してくる。経歴、年齢が全く異なる60名前後の訓練生が、農業について学ぶ場である。

②訓練後の進路

就業が目的であるが、ここ数年は農業法人や農業関連企業等への就職も増加した。修了生は毎年50人程度であり、訓練科の設置後16年を経過した現在、研修終了生は500人弱になっている。

③就業後、数年以内に就農

修了生の6割程度が最終的には就農しており、新規就農者の育成機関としての役割が果たせている。

④本校修了生のネットワーク・後輩訓練生の指導

修了生の中には、後輩である訓練生の受け入れを積極的にに行い、後継者の育成に力を注いでいる人も多い。また、就農した者同士が栽培グループを作るなど、助け合いながら営農しており、知識・技術の研鑽を図っている。